

高校3年 授業要項

1. 開講講座の紹介
2. 指導の特徴——指導4本柱
3. 塾の施設について
4. 受講料のシステム

己と向き合い、超克する精神力を。

①4月～7月、②夏期講習、③9月～11月、④直前期と4つの期間に分けてそれぞれに目標を定めて対応をします。高3生の基本は、7割くらいでいいだろう、この程度の演習でいいだろう、という「～だろう」という甘さを消して、得点に貪欲になることです。そのための努力の道筋と授業における徹底した修正と鍛え上げを実施します。

講義と徹底した鍛錬指導により、塾全般の指導が腹を括った覚悟と真剣に向き合うクラスです。

開講講座の紹介

■ クラス授業

指導4本柱

- ・ 専門性に裏打ちされた授業
- ・ 問答授業の活用
- ・ 添削結果を活用した授業
- ・ 自習指導との密な連携



● 各人別の学習スケジュールの設計

少人数に絞り、徹底したコミュニケーションを密に行い、短期的、中期的、長期的な視野で一人一人に最適な学習方針を随時組み立てます。

● 授業から自習の密な連携

授業は授業で「自習は君たちにおまかせ」というスタンスは取りません。授業で向き合った弱点を、即補強し、得点に変える連携した自習指導を行います。

● 得点には常にシビアに向き合う

「7割くらいでいいだろう」「このくらいやればいだろう」「明日でいいだろう」これらの「だろう」は甘えです。学校なき時分、どこまでも貪欲に得点に向き合い、上昇し、大学進学を勝ち取らんとすることを怠らない姿勢を育てます。

● レベル別クラス編成を実施 2021年度クラス設置

【文系国立クラスH（東大、一橋等）】【理系国立クラスH（東工大、医学部）】

【早慶上智クラス】【ハイレベルクラス（首都大、GMARCH等）】【スタンダードクラス】

※在塾生の状況によって柔軟に変わります。

■ 開講科目

● レベル別クラス編成

西荻塾のクラス授業は、習熟度別・志望校別にクラス分けを行っています。入塾時の学力診断、常時の受講状況、模擬試験の成績等により柔軟に編成します。

科目 授業回数	分野	指導方針
英語 週 1～2	英文法・ 作文	標準的な入試で必須となる空所補充問題からスタートし、正誤問題や英作文を用いて、的確に速く文法や語法の知識を使いこなせるようにトレーニングしていきます。志望に応じてクラス分けを行い、入試問題別の対策を進めて得点につなげる力を磨きます。
	読解・解釈	まず、英文法・作文等の知識を用いて、文構造を正確に捉えて意味を解釈する力と、短時間に長文の大意をつかむ力を身につけていきます。秋以降は、入試問題を利用した実践的な総合力を磨きながら、様々なテーマの文章に触れ、読解の補助となる教養的な部分の幅を広げてもらいます。
数学 週 1～2	理系クラス	授業時間を分割し、数学 I A I B の重要テーマの復習と、数学 III を中心とした、徹底した演習講義を実施します。志望に応じて、課題および自習課題を柔軟に設定しています。礎となる計算力に加え、多角的な問題分析力を鍛えます。
	文系クラス	既修分野については積極的に入試問題を利用して深い洞察力を養います。特に、数列、ベクトルについては、他の分野との連携と融合が頻出。学校や教科書では取り扱わない、味わい深い問題を準備してお待ちしています。
国語 週 1～2 古文のみ 60 分	現代文	主に記述式または高得点の取りにくい選択式の厳選された入試問題を利用して、徹底して読解力と日本語の力を鍛えます。難解な文章も、テンポ良く読解し、同時に知的好奇心をくすぐる古今東西のネタを織り交ぜながら教養に深みを持たせます。1年の目標は、「およそ日本にある論説文ならわたし読める」という自信をつけること。
	古文	年度前半は、記述形式の問題を中心に扱いつつながら、文法的な知識を意識的に使いこなす習慣を身につけてもらいます。年度後半は、様々なジャンルの文章に触れながら、解答にたどり着くために大きく役立つ古文の背景知識を習得し、志望校別の対策を進めていきます。
	漢文	年度前半は、記述形式の問題を中心に扱いつつながら、句法の知識を書き下し文と解釈の両方で正確に運用できる力を磨き、同時に漢文特有の文章構成の理解や、現代日本語の用法と異なる漢字の知識などの充実を図ります。秋以降は、入試問題を用いて志望校別の対策を進めていきます。
理科 週 1	物理 化学 生物	理系で勝敗を分けるのは間違いなく理科です。日々の学習で意識的に理科の学習に取り組んでおくことは入試はもちろん、理系で生きていくための基本であると信じて授業を組み立てています。原理原則に忠実に、しっかり考えて解く。最新の入試問題を厳選した演習も積極的に自習課題として課していきます。 ※物理は、志望によっては、解析物理（数学を利用した物理講義）を取り入れます。 ※化学は、無機分野・有機分野を中心に、毎回小テストを実施し、知識がためを平行して行います。 ※生物は、遺伝・生殖・生化学（異化・同化・ホルモン・遺伝子）などを中心に、毎回小テストを実施し、知識がためを行います。
社会 週 1	世界史 地理	私立文系および、国立志望者で論述対策が必要な方、それぞれにカリキュラムを準備しています。いずれにせよ、社会科は分量が膨大ですので、効率よく暗記と理解、そして反復（ここまで入力）、さらには演習（出力）を行っていくバランス感覚が重要となります。図説や用語集の駆使の仕方から、論述であれば教科書の効果的な使い方、さらには自学自習用の演習書等のアドバイスまで一貫して指導を実施します。

● 入塾方法

クラス授業、個別授業ともに、まず、無料の体験授業を受講して下さい。体験授業を通じて、担当講師から現在の状況、今後の見通し等詳細なご説明を事後に差し上げます。

*体験授業の日程等は改めてご相談の上決定いたします。

■ 専門性に裏打ちされた授業

あ、なるほど、と腑に落ちるまで

西荻塾は、受験生が学習の過程で抱く知的好奇心に応えうるだけの専門性と素養を十分に身につけた講師達が待っています。「ずっと腑に落ちるその瞬間まで」—いつでも、いつまでも受験生達と語り合う時間を大切にしたいと思います。

微積分やベクトルのふわっとした感じや、なんとなく読む評論文、雰囲気読んでいた英文解釈…是非、教室での専門性に裏打ちされた論理的かつ明快な説明に触れていただき、目から鱗が落ちる瞬間を体験してもらいたいと思います。

解ければいい、では解けないのも事実ですし、受験勉強であっても、知的好奇心に素直になってほしいと考えています。

「わからない！」でも、「もっといいやり方がある！」でも、「この考え方の背景は？」でも、その正直な叫びを徹底して塾という場でぶつけて欲しいと思います。

指導4本柱

■ 問答授業の活用

ソクラテスメソッドによる揺り動かし

西荻塾は、ソクラテスメソッドを取り入れて授業を実施しています。

ソクラテスメソッドとは、生徒と講師で発問、発話等を頻繁にかわしながら、予め予習してきた内容を踏まえ、解答のプロセスの確認や現場思考能力を鍛えていく手法です。「無知の知」で知られるソクラテスに由来しますが、実際、塾生たちは予習である程度の解答を作っても、意外に問答に窮することはしばしば。その「意外」性に実は、弱点だったり、無理解だったりが見え隠れしていることがある。無知の知とまではいきませんが、こうした知的トレーニング（揺り動かし）こそ、ソクラテスメソッドの最大の利点です。

4本柱の2本、「添削のための答案」を素材に、「専門力」のある講師が、教室を徹底した訓練の場に変えていきます。頭をフル回転しながらも、あっという間の授業時間で鍛え上げていきます。

■ 添削結果を活用した授業

答案に全てが現れる。答案で決まる。

試験会場でのコミュニケーション手段は、答案用紙と受験生が握った筆記具のみ。大学入試共通テストでも、記述式が導入されます。

たとえば、いわゆる「自由英作文」を課す大学。難関大とよばれる大学では当たり前となりました。しかし、これを英作文の授業で扱うとして、添削抜きにどう講義をするというのでしょうか。そして、添削結果に目を通さずして、目の前の塾生たちに効果的に授業が出来るのでしょうか。

西荻塾は、効果的な授業を行うために、実際に授業を担当する講師が授業前に直接添削を実施します。添削は、機械的なものとどまらず、記述の方法から、内容の深さに至るまで、入試で求められる記述力を添削によって徹底して鍛えます。さらに、添削後すぐに授業で活用することが前提となっていますので、提出と復習がタイムラグなくして可能です。

■ 自習指導との密な連携

自習なくして、結果は伴わず。

西荻塾では、授業のみならず、授業外の時間帯において、それぞれ一人一人の塾生の志望に合わせて、各人別の指導をさらに強化していきます。自習のやり方、科目別のエネルギーの配分、長期休暇の過ごし方、日々の時間の使い方や進路の相談、直前期何を優先すべきか…もろもろと、受験生の悩みに正面切ってぶつかっていく体制です。単なる「授業屋さん」ではない、君たちと一緒に戦っていく当塾専任講師たちが、対話を繰り返し、塾生たちと授業内外でがっちりとした信頼関係を築き上げていきます。

授業を担当する講師が直接自習にメスを入れることがどれだけ効果的か。西荻塾は創立以来、これとずっと貫いてきました。

自習なくして、結果は伴わず。机について、すぐに実のある学習を自分で行えるようになる。これが目標です。

塾の施設について

■ 常設自習室完備

毎日でもご利用ください

西荻塾では、常設の自習スペースを確保しています。受験生や定期試験前を中心に多くの生徒が利用しています。ピリッと張り詰めた空気感のなかで、充実した設備のもと、自習が可能です。

また、講師が授業中でない時間帯は、捕まえて質問や相談は随時可能です。なんでも聞いて欲しいと思います。

※休日利用については、セキュリティシステムの運用上、事前手続をお願いしています。

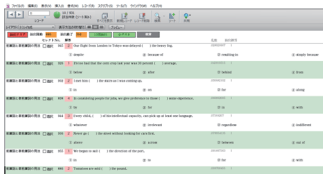


■ 演習システム整備

小テスト・演習はいつでも可能

西荻塾では、生徒用の演習システムを整備しています。授業中には、各種小テスト等が実施されますが、準拠教材をベースに、独自データベースアプリを構築し、出力できるようにシステムを構築しています（当塾でプログラムを組んでいます）。

このアプリを操作し、自由に生徒が小テストを作成し、演習できるようになっています。単語テストや英文法、計算テストなど、コツコツと積み上げていきましょう。



受講料のシステム

■ クラス授業の受講料

学年	講座数	授業分/週	受講料/月額
高3	1講座ごと	90分×1	18,000円 (税込19,800円)
	3講座以降の割引		■ 受講科目全科目に適用 3講座以上…総額から5%割引

*月謝は8月を除く毎月必要となります。季節講習会は授業回数が異なりますので費用が異なります（講習会費用は、通常クラス授業の水準で、授業回数に応じて変動します）。

*授業回数は各講座ごとに4～7月に14週、9～翌年1月に18週合計32週のカリキュラム実施いたします。

*科目によっては、週2回の授業が行われる場合があります。この場合は、2口座受講の取扱となります。

*8月は夏期講習会、12月の一部と1月は講習会のカリキュラムとなります（原則としてご参加ください）。

*2月は志望校別の直前対策授業が開講されます（オプション開講のため、ご希望に応じてご選択ください）。

*途中入会の場合は、入会月の月謝の金額について、回数に応じた計算をさせていただきます。

● そのほかにかかる費用

■ 入塾金 30,000円 (税込 33,000円)

*ご紹介の場合は、総額より10,000円を割引きます。

■ 教材費 (年間) 高3生 12,000円 / 1科目 (税込 13,200円)

*教材費は、テキスト代・塾内テスト代等に充当します。

*英語、数学について、その細分については、科目とはいたしません（「英文法と英文解釈」を受講しても、英語1科目とします）。

*高3生は、年度途中ご入会の場合も月割り等の計算はいたしません。

■ 指導充実費 (施設維持費等含む / 前期・後期の2分割でご請求いたします)

前期 (4月～8月末) 30,000円 (税込 33,000円)

後期 (9月～1月末) 35,000円 (税込 38,500円)

*2月・3月分は不要です。

*コピー代、自習室維持費、教室運営費等のほか、授業外の時間帯を利用した自習指導、補習、随時の進路相談の費用が含まれています。

*受講講座数にかかわらずご負担ください。

*期間途中でのご入会の場合は、月割りで計算いたします。

● 兄弟・姉妹で在籍される場合は、兄弟・姉妹割引があります。

・当塾にすでにご兄弟・ご姉妹が通塾されている場合は、各学年所定の入会金、受講料について割引があります。詳しくは、別紙をご参照ください。

■ 個別指導コース

西荻塾では、クラス授業とは別に個別授業のコースを設定しています。学校の授業進度に準拠した指導、特定に入試形式に照準を合わせた指導、短期間で基礎学力の充実を目指す授業など、様々なニーズに対応いたします。

詳しくは、個別授業用の授業要項をご覧ください。



西荻塾 (にしおぎじゅく)

杉並区西荻南 3-9-11 フロンティア EX ビル 3階
TEL 03-3334-5415